

Newsletter of Catholic Omiya Church

おおみや教会通信



4月18日の主日ミサより、新しく大宮教会の担当司祭として飛鳥祐人神父様をお迎えしました。よろしくお願いたします。

「5月は何の月ですか？」新しく大宮教会の担当司祭になった飛鳥神父様が2回目のミサの説教の中でみなさんに尋ねました。でもあまり大きな声で答えた方はいなかったようです。

5月は「聖母マリアの月」ですね。

キリスト教の宗派の中で、唯一カトリックだけが「聖母マリア」を崇敬（崇拜ではない）の対象としています。いわゆる「マリア信心」と言われ、ロザリオの祈りや様々なマリアの祈りがあります。昭和の頃はマリア信心が盛んに行われていたのですが、最近では下火になっていました。でもまた注目され始めているようです。

皆さんは「聖母マリア」にどんな印象をお持ちでしょうか？

聖母マリアは人間の中で唯一、原罪がない状態でお生まれになり、神に選ばれて、神の子イエスを生むことを受け入れた方です。

きっと最初から特別な方だったと思いますが、やはり受胎告知を受けた時、マリア様の心は動揺し、不安でいっぱいになったことでしょう。それでも神様に全幅の信頼をもって、その申し出を受け入れられたのです。

私たちも予期せぬことが起きて混乱したときに、マリア様のようにじつくりと考えを巡らせ、神様に信頼して受け入れることができるよう祈りましょう。

「The ROSARY is a fortress against evil. It is a sign to satan that you belong to Our Lady」
- St. Dominic -

ロザリオは悪に対する要塞です。それは、あなたが聖母マリアに属していることをサタンに示すしるしなのです。

聖ドミニコ

4月4日の復活徹夜祭で洗礼を授かった方々の感想を紹介いたします。

高山

この度、無事に洗礼式を終えて皆様の中に入れて頂くことができました。

これまで生きてきた経験を基に生活をしてきましたが、この価値観で良いのか疑問があり、

一昨年の12月から大宮教会に伺うようになりました。

洗礼に向けての勉強会にて神父様から教えて頂いたこと、主日のミサにおける神父様のお説教と朗読される内容、分かち合いの会にて皆さんから教えて頂いたことが非常に身になってきています。また、本をお借りしていろいろな方の考えを知ることができました。今回、皆様に支えて頂き、信者となることができました。有難うございます。

神父様、皆様から教えて頂きましたことを基にこれから信仰を深めていきたいと思えます。これからも宜しくお願い致します。

小川

12歳の頃、母が選んでくれたカトリック学校で神様に出会いました。当時は受洗がかなわず、卒業後は神様から離れ、そのまま長い年月が経っておりました。大宮教会に通い始めたのは、現在行方が分からなくなっている娘に誘われたのがきっかけです。

最初はゆつたりとした気持ちで通い始めたのですが、孫が『あなたを信じます』と歌う声を聴いた時、また神様を信じよう、神様がゆかりを守ってください、と思うようになりました。

今年の復活祭に心人で受洗した今は、満たされた気持ちでいっ

ばいです。

私の中にはまだ頑なな部分があり、神様の愛をすべて受け入れられていないと感じることもあります。これからは素直に心を開き、神様の愛をより深く受け入れていきたいと願っています。

受洗まで導いてくださった山口神父様、代母の徳良さん、ゆかりの代父の河本さん、いつも温かく見守ってくださいる教会の皆様へ感謝いたします。

大石

かみさまの子どもにす。考
なうれしいてす。
イエさまのことを
えました。

<信徒委員会・各部からのお知らせ>

○信徒委員会

2026年度信徒委員会メンバー

信徒委員長／常務部長 齋藤

副委員長／典礼部長／財務部長 石黒

書記 薄葉

総務部長 酒井

成人養成部長 河本

青少年養成部 横山

地区部長 寺田

広報部長 下田

梶田



○典礼部より

・平日の朝ミサ:

毎週木・金曜日9:30(小聖堂)

・英語・フィリピン語ミサ

第1日曜日 14:00(聖堂)

・ミサの奉納の順番 現在献金箱が揃ってからの順に奉納していますが、時間がかるため、以前のように先

にパンとぶどう酒を奉納し、献金箱は揃ってから奉納するスタイルに戻します。

・キリアーレについて: 塩田神父様版ではなく、来年の復活祭までキリアーレAを歌います。

○広報部より

おおみや教会通信は120部印刷し、うち40部を教会に送られない方に郵送しています。郵送料が値上がりし、現在は1部送るのに年1320円かかります。

大変心苦しいことですが、もし今郵送してもらっているけれどホームページで読むことができるという方は郵送中止のご連絡をお願いします。一方で最近教会に行けなくなり、ホームページも読むことができない方には、郵送しますので必要としている方がいらっしゃったらご連絡ください。皆様のご協力をお願いいたします。

○毎日のミサの年間購読について

年間購読者は2026年5月号より、2027年4月です。共同購入をすることで、カトリック出版部より大宮教会へ、神父様の

購読分、小聖堂設置分としての、補填が、増えますので、どうぞ、ご検討下さい。

年度の途中、いつからでも、購読は可能ですので、いつでも、お声がけください。

「毎日のミサ」購読係 須田

青年会

復活祭のミサの後、イースターエッグハントをしました。

たくさんの子どもたちに楽しんでもらえました。



ホームページの更新 広報部

広報部ではカトリック大宮教会のホームページを管理しています。

飛鳥神父様が御ミサにおいてミサ後に改めて福音を読むことの大切さをお話になっていました。

そこでホームページに主日のミサで読まれた福音を掲載しますので、家事のあいまや通勤電車の中などでご覧ください。

また、「主の祈り」をはじめ「大宮教会共同体のための祈り」なども掲載していますので、ご覧ください。



https://catholic-omiya.org/gospel_of_the_day/



『ゆるしの秘跡』について 毎月第2日曜日の主日のミサ前 10:00~10:45

新しい「ゆるしの秘跡手引き」が告解室に置かれています。ロビーにもコピーが置いてありますので、ご自由にお持ちになり、事前に手順をご確認ください。当日は椅子を告解室の前に並べておきますので、順番にお座りください。飛鳥神父様はミサ前の鎮まりの時間をとても大事にされています。10:40を過ぎても入室できないと思われるときには列に並ばず、次の機会をお待ちいただきますようご配慮ください。

主のご復活おめでとうございます。

大宮・上尾教会共同体の皆さん、初めまして！

私の名前は飛鳥祐人と申します。マリオ司教様から大宮教会と上尾教会へ派遣され、まだ右も左も全く分かりませんので、どうぞ皆さんこれから宜しくお願いします。

私は司祭として14年目に入りましたが、まだまだ未熟な所もたくさんあります。皆さんの助けとご協力とご理解が必要です。

私の思いとしては、一人一人が差別や偏見を持たず、開かれた教会として、一人一人がお互いを尊重し、お互いを助け合い、お互いを許し合いながら心を開いて、キリスト者として歩んで欲しいと思っています。

今の日本の教会はたくさん外国人の方々もキリスト者として一緒に歩んで欲しいです。自分だけの教会ではなく、みんなの教会として、お互いのタレントを尊重しながら、協力して活かして欲しいと思っています。

生意気かもしれませんが、皆さんとこれ

から共同体を共に作っていききたいと思っていますので宜しくお願いします。

大宮教会担当司祭 飛鳥 祐人

【教会のおいしい】第3回

八木山教会婦人会でいただいた かぼちゃのサラダ

結婚して子どもが産まれ、しばらく離れていた教会にまた行ってみたいと思うようになり、最寄り（とは言え隣の山）の八木山教会（宮城県仙台市太白区）によりよち歩きの長男を連れて行きました。結局ミサの間、飽きてしまった息子を幼稚園の園庭で遊ばせて、ほとんど聖堂にいらなかったにもかかわらず、新参者の私を婦人会の方々が歓迎して、茶話会に呼んで下さり、その時にご馳走になったのがこのサラダです。

勝手に真似して作ったので、我流ですが、ポイントはこちらきょうで作るタルタルソースです。らっきょうが嫌いな家族もこれは喜んで食べます。レンジで作るので簡単です。

【かぼちゃのサラダ】

かぼちゃ 1/6個

らっきょう（甘酢漬け）6〜8粒

マヨネーズ 大さじ3

塩・胡椒 少々

①かぼちゃを洗い、切り、種とわたを取り除き、厚さ1センチくらいに切る

②平な耐熱皿に重ならないように並べ、少し水を振り、レンジで3〜4分加熱する。

（竹串を刺してスツと刺さるまで）

③らっきょうを粗みじん切りにし、マヨネーズと混ぜ、塩、胡椒で味を整える。

④かぼちゃにタルタルソースをかける

（温かいうちでも、冷蔵庫で冷やしてもOK）

*このタルタルソースは

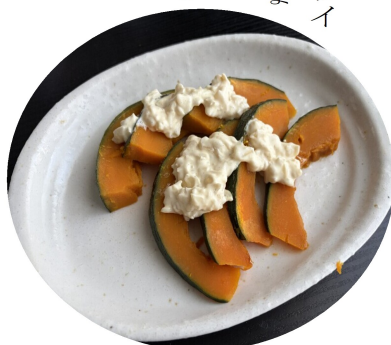
チキン南蛮や魚のフライ

などにも使えます。らっきょう

うはピクルスよりも入手

しやすいのでおすすめで

す。



広報部では「教会のおいしい」をはじめ他の教会の紹介など、皆様からの投稿をお待ちしています。日頃お考えになっていることなどで皆さんと共有したいことなどもお知らせください。

kouhou_rec@catholic-omiya.org

† サモア～主に呼ばれて～ (48) †

6月になって少しすると、二人の知り合いがほぼ同時に来てくれました。

一人は東京教区で神父をしていた方。もう一人はオーストラリアのパースの英語学校で知り合い、いつもゴルフと一緒に行っていた友達です。

神父様はまだ若手の神父でしたが、小教区での司牧に疲れてしまったようで、英語の勉強を兼ねて、東京教区からアメリカに行く途中に寄ってくれました。

JJMMから手紙が来ていることもあり、神父様は大歓迎されていました。部屋もボランティアアハウスではなく、修道院の一室に泊まっていました。滞在中は修道院で毎日朝ミサをしていました。英語でミサができるくらい英語は話せていたので、アメリカに行くのもどちらかというと休養目的だったのでしょうか。サモアに来たのも、JJMMの事務局長だった神父様と神学校が同期のようで、どこかのんびりできるところは知らないかと、聞いたというようなことをお話しされていました。

ゴルフ仲間の友達は、ワーキングホリデーが終わって、太平洋の国を少し回ってから日本に帰るとのこと、ニュージーランドに寄ってかから来てくれました。

この二人がいる間は、私もたのしく過ごせました。二人がアピアのマーケットでカツオを1匹買ってきて、カツオのたたきを作ってくれたのが、特に思い出に残っています。魚市場では、

色とりどりの魚が売られているのですが、熱帯魚のような魚は食欲がわきません。カツオは800円くらいで、50センチくらいのものが買えるのですが、一人で食べるには大きすぎるので、買ったことはありませんでした。素人料理とはいえ、カツオをおろして、火であぶって食べたカツオはおいしかったです。

このころ、佳美が「生理が来ない。気分が悪い」と言い出しました。妊娠したのでは、ということでも村のクリニックで看護師として働いているシスターに相談したところ、首都には総合病院があり産科の医師がいるから診てもらったらどうかということで、シスターにお願いして、診てもらうことになりました。

とはいえ、今の日本とは違ってエコーなどありません。触診とツッパみたいなものをおなか当てる、胎児の心音を確認するくらいでした。医師からは妊娠を告げられ、予定日は翌年3月9日と言われました。当然、性別も分かりません。その時点ではサモアで出産の予定でした。

サモアでの子育ては想像もつきませんが、サモア人はサモアで産んで、育てているので何とかなるだろうと、樂觀していました。性別が分からないので、名前は両方考えることにしました。時間はたっぷりあるのでいくらでも考えられます。画数とかは気にしていませんので、候補はいくつも出てきそうですが、せつかくサモアで育てるので、サモアにちなんだ名前がいいな

と話していました。とはいえ、カタカナというわけにはいかず。サモアは南太平洋の真ん中にあるので、南太平洋というのを使って、名前を考えました。男の子だったら、「洋平」、女の子だったら「南」にしようということになりました。結果は、皆さんご存知のことと思います。

例年7月下旬にある全国の高校陸上大会に向けて、砲丸投げを学校の先生方が教わることになりました。アメリカ人のボランティアが来てくれて、砲丸をもってきて、投げ方を教わりました。初めて砲丸投げをしたのですが、遠くに飛ばしやす投げ方を覚えるのが難しかったです。ただ、砲丸は学校にないので、生徒に練習させることもできず、私たちの学校からは、砲丸投げの代表は出られませんでした。

どうして砲丸投げを教わることになったか、まったく分からないのですが、おそらく、サモア政府がそういうボランティアを要請したため、各学校を回って教えるようになったのではないのでしょうか。

陸上大会に向けては、校内予選もありました。おそらく前年度は私がサモアに入国する前に終わってしまったと思います。この予選の日は、H日ずっと運動会のように、全員が何かしらの種目に参加して、走ったり、跳躍種目に挑戦していました。

見沼区 齋藤

おおみや教会通信はカトリック大宮教会のHP
 (https://catholic-omiya.org) でご覧になれます。
 ご意見や投稿(本などの感想、特集してほしいことなど)
 を募集しています。FAX・郵送・電子メールで受け付けています
 〒330-0803 さいたま市大宮区高鼻町2丁目350
 カトリック大宮教会 広報部宛
 FAX 048-641-2724 Mail kouhou_rec@catholic-omiya.org

